

NEWS LETTER

2011年 3 月 30 日 No. 556

三重大学教職員組合発行

直通 : 059-231-4447 (内線 2169)

E-mail : KYF03351@nifty.ne.jp

URL : <http://homepage2.nifty.com/mie-union/>

2011年度定期大会を終えて

2011年度定期大会は、2011年1月26日水曜日(18:00~20:00)、三重大学教職員組合事務所にて行われました。組合事務所を会場にして集うのは、三重大学教職員組合の長い歴史の中でも初めてのことであったのではないのでしょうか。

大会は、守田副委員長(教育学部)の開会宣言で幕が開き、議長団選出、資格審査、来賓挨拶・メッセージ、の順に進められました。

議長に原田泰志氏(生物資源学部)・山根栄次氏(教育学部)、議事録署名人に新美治利氏(工学部)・岩崎恭彦氏(人文学部)の4代議員が選出された後、来賓の三重県国家公務員労働組合共闘会議(県国公)事務局長・鍛田吉信氏よりご挨拶いただきました。

今大会に寄せられたメッセージの中から、代表代読として全国大学高専教職員組合(全大教)中央執行委員長・中島哲彦氏からのメッセージが守田副委員長により読み上げられました。

また、今回は特別に三重県労働組合総連合(みえ労連)議長・唐沢克明氏が傍聴出席され、一言ご挨拶もいただきました。

大会は代議員総数21名のうち、12名の出席者と5名の委任状、計17名の参加で成立しました。その後、仕事で遅れた代議員も加わり代議員出席予定者14人全員が揃い、総勢27名で満席となった会場は、例年の定期大会と比べると、アットホームな雰囲気が感じられました。

大会の概要報告

開会の挨拶の中で、野崎委員長(人文学部)は、「大学が岐路に立っている今、ぜひとも組合員を増やして大学の無謀な改革は止め、研究教育の条件も含め労働者である我々の条件を改善の方向に向けられるよう組合の活動を進めて行くことができれば」と組合活動活性化の必要性と期待を示しました。

続いて、守田副委員長により2010年度の活動報告(第1号議案)と会計報告(第2号議案)がなされました。第1号議案についての質疑応答では、学長交渉結果報告に関して、文系学部再編についての質問が出ました。また、人勤削減分の使途(環境情報科学館等)についても意見が上がりました。そのほか、駐車場有料化問題や組合員の福利厚生について、野崎委員長から追加報告がありました。

第1号議案、第2号議案が挙手多数により可決された後、山根氏から原田氏に議長を交代して2011年度役員選挙(第3号議案)に入り、選挙管理委員(山口委員・板谷委員)が役員選出規定に基づき新役員の選出を行いました。代議員による信任投票により2011年度の中央執行委員、監事及び次期選挙管理委員が選出されました。

今定期大会では、副委員長について、候補者の組合員資格が(規約第3条)失効中であるため、4月、組合員資格復帰後、副委員長選出のための臨時大会を開催(規約第17条)することとし、副委員長席空白で選挙を行いました。

選挙結果について副委員長を除く、全員が過半数で信任されたことが山口選挙管理委員より報告されました。

選出された新役員・監事・選挙管理委員は以下の通りです。

2011年度中央執行委員会構成メンバー

役職	中央執行委員長	副委員長	書記長	書記次長	執行委員	監事		選挙管理委員	
氏名	後藤洋子		橋場俊展	鬼頭孝治	新美治利	守田庸一	中西正治	鈴木直之	和藤浩
所属	(教育)		(教育)	(生資)	(工)	(教育)	(教育)	(生資)	(工)

新役員による自己紹介の後、第4号議案 2011年度活動方針案が報告され、その質疑応答では、非常勤・パート職員への組合員拡大の検討や、人勧後速やかに交渉を進めて人勧削減分の代償措置獲得を目指してほしいとの意見が上がりました。これについて、2010年度中央執行部も新しい中央執行部へ期待を寄せました。

閉会の挨拶で、橋場新書記長は、「今、民間企業では、経営者が労働組合を見直している。雇用形態の多様化によって生じた新しい不満やニーズをなかなか掬い取れない経営者にとって、組合が拾った生の声は貴重な情報である。組合との交渉は経営者にとって厄介事ではなく経営を遂行していく上で貴重な場であることを学長に理解していただきたい。組合員には組合の存在感を感じてもらえるよう頑張っていきたい。」と締めくくりました。

2011年度中央執行委員の信任投票結果

規約第26条に基づき、新役員の全組合員による信任投票が2011年1月28日(金)～2011年2月18日(金)の期間に行われました。2月24日(木)の選挙管理委員会の開票結果によると、総投票数165(うち白票1、無効票0)のうち、信任投票数164、総投票者の過半数を満たしたので、候補者全員が信任されました。

2011年度の中央執行委員の挨拶

◎後藤 洋子・中央執行委員長(教育学部・教員)

これまで「長」のつく仕事とは殆ど縁がありませんでしたが、この度、委員長の大役を務めることとなりました。私の力は微力ですが、元気の良い頼りになる書記長をはじめ委員の皆様、書記局の方々と連携協力し、今、私たちが組合としてできることそして三重大が少しでも明るい職場となることを目指して、精一杯取り組みたいと考えております。組合員の皆様、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

◎橋場 俊展・書記長(人文学部・教員)

着任5年目にして中央執行部書記長という大役を仰せつかることになり驚天動地の心境です。個人的には平穩無事な毎日をごよなく愛し、争いごとやもめごとは極力回避する性格なのですが、このように責任ある立場について以上は、言うべきことは言い、為すべきことは為すというスタンスを堅持し、微力ながらより良い職場を実現できるよう努力して参る所存です。組合員の皆様にも是非とも当事者意識を持っていただき、今年度執行部に一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎鬼頭 孝治・書記次長(生物資源学部・教員)

これまで大学における組合活動にどのような意義があるのかと疑問を持っていた私が、学部の執行委員をお引き受けすることになり、さらには中央執行委員を引き当て、このたび書記次長を仰せつかることになりました。昨年12月に行われた学長交渉に次期中央執行委員として参加し、これまで伝え聞いているに過ぎなかった情報の詳細を知る機会を得ました。このとき、全教職員がこのような機会を得、現実起こっている問題を意識することができれば、組合活動の活発化、ひいては組合員の増加につながるのではと思いました。自らの意識改革を通じて、微力ではありますが、より働きやすい職場環境の構築に努力したいと思っております。

◎新美 治利・執行委員(工学部・技術職員)

今年度、執行委員をさせていただくことになりました。皆様のために少しでもお役にたてるように、中央の組合活動のことも勉強し、執行委員の方々と協力しながら頑張っていきたいと思っております。

2011年度活動方針

I. 取り組む課題

1. 教育・研究・医療などの労働条件に関する課題

1) 緊急の課題

①大学の全体構想について

大学への運営費交付金などの財政支援縮小や文科省の方針など、合理化や人員削減が問題となってきます。特に人勧に準拠した本給表の引き下げ、期末手当および勤勉手当の引き下げにおける削減分の使途については、三重大学では、学生生活の充実のための環境整備や教育環境の整備のための経費に充てられましたが、本来は職員の人件費であり、教職員の福利厚生や地域手当を本来の6%にするなどの処置を行い教職員に還元すべきであります。また、三重大学の第二期中期目標・中期計画での人員管理計画、文系学部の研究・教育組織の再編、教員養成制度への対応に注目し、必要あると判断した場合には、具体的に対応していきます。

②駐車場有料化について

2008年度から課題として取り組んでいる駐車場有料化問題については、有料化を前提に進んでいるように見受けられますが、大学当局の動向を注視しながら、必要あると判断した場合には、敏速に対応していきます。仮に有料化となった場合は、特に駐車金額の設定理由、駐車金額の費用の使途なども当局から情報を得て明確にしていきたいと考えております。

2) その他の短期的課題

①大学当局との積極的交渉

大学の情報など、組合から大学当局へ情報提供の要望を出さない限り情報が手に入りにくい状況です。たとえ要望を提出しても、その回答は、遅延する状態となっています。大学当局に公開性、透明性のもと、事前協議など方策を早急に打ちだしてもらうことを要望すると同時に、組合側も積極的に交渉を進めていきます。

②人事院勧告

前述でも記載しましたが、人勧に準拠した本給表の引き下げなどによる削減分は、教職員に還元すべきでありますので引き続き検討していきます。

③教員の個人評価

教員の個人評価結果の昇給・昇格への反映については、個人評価はあくまでも判断材料の一つで、最終評価については各部局の裁量で決められています。透明性・公平性にもとづく制度の確立を求めています。

④教員の大学院手当の支給調整方法および超過勤務に関する手続き方法の改善

教員の大学院手当の支給調整方法および超過勤務に関する手続き方法など、まだ不明確や問題点なども多くあり、今後も注視し、検討を行っていく必要がある。

⑤教職員の給与について

教職員の給与については、対他の国立大学法人等指数については、徐々に格差が縮まっていますが、対他の国家公務員との指数（ラスパイレス指数）の差については、いまだその格差は大きく、特に事務・技術職員に大幅な格差がみられます。このような状況にあるため、処遇の改善等について要求を行っていきます。

⑥看護職員

2007年以降、42ある国立大学病院のうち40病院で、患者10人に看護師1人を配置する「10対1看護」から、患者7人に看護師1人を配置する「7対1看護」が実施されており、本学附属病院においても、新病棟開設後、「7対1看護」が導入される予定です。すでに実施されている病院では、「以前より手厚くケアできるはずが、日勤者人数がぎりぎり業務をこなしているだけ」「看護師は増員になったが、新人教育に追われ、患者のケアに時間を割けない」（全大教調査）という声が聞かれています。本学病院においては、長時間夜勤となる2交代制を導入している病棟もあり、「7対1看護」実現後の看護師の労働環境が改善されるとは考えにくいと思われれます。このような状況になった場合は、敏速に情報を収集して対応してきます。

2. 三重大学の将来構想に関する課題

運営費交付金の削減、人員削減が問題、第二期中期目標・中期計画、研究・教育組織の再編、教員養成制度への対応など、大学の動向など注視し、具体的に対応していきます。

3. 全国的課題

運営交付金の更なる削減や競争経費化や大学の再編統合などの動きに対して反対するとともに、全国的な諸問題に対して、全大教や加盟団体などと協力し、情報の収集・発信、署名活動などを行い活発に取り組んでいきます。

II. 活動の重点

1. 各職場・職員の実態を把握し要求を行う

各支部とも協力し、職員が働きやすい職場にするため、意見やアンケートなどを活用し、職員の労働実態を把握し、問題があれば敏速に要求を行ってまいります。

2. 労働協約を活用し、学長交渉、担当理事交渉を積極的に行う

労働協約を活用し、団体交渉等を積極的に行います。また、個別案件に関する申し入れ書の提出も積極的に行い、学長交渉のみならず、担当理事や人事チーム・職員チーム等との間でも交渉や懇談等を行ってまいります。

3. 全国的課題や学内情勢を組合員への情報発信、各支部との連携を深める

組合のホームページの更なる充実を図るとともに、全国的課題や学内情勢に関する情報を組合員へ積極的に発信してまいります。また、各支部とも連携を深め活動を行ってまいります。

4. 組合員の拡大、組合の力を強化する

組合員が拡大した大学の情報などを参考に、組合員の拡大を目指します。昨年に引き続き特に、人文学部支部、教育学部支部については教員の過半数維持とさらなる拡大、生物資源学部支部については教員の過半数の確立、工学部については教員の加入、医学部については組合員の拡大を目指すとともに、附属病院については連絡をとりながら同様に組合員の拡大を目指します。また、事務職員の組合加入についても積極的に活動を行ってまいります。

◇最近の活動報告とその動き◇

1/26(水) 2011年度定期大会

1/28(金)～2/18(金) 2011年度三重大学教職員組合中央執行委員会役員選挙期間

2/11(金)～2/12(金) 全大教合同地区別単組代表者会議 in 京都 (橋場書記長)

2/15(火) 平成22年度第8回三重地方最低賃金審議会 (橋場書記長)

2/15(火) 2011年度第1回中央執行委員会

2/24(木)～3/31 「最賃1,000円の実現と中小企業支援の拡充を求める国会請願署名」とりくみ期間

2/28(水) 学長交渉議事録調印日 (野崎委員長/下職員課副課長)

3/1(火) 内田学長へご挨拶 (組合側：後藤委員長・橋場書記長・榎岡書記、
大学側：坂口事務局長・江崎総務部長・桜井職員課長、陪席：下副課長、世古係長)

3/1(火) 東海圏大学非常勤講師組合より全大教「大学・高専の充実を求めるアピール」署名いただく

3/2(水) みえ労連その他より全大教「大学・高専の充実を求めるアピール」署名4筆いただく

3/8(金) 三重短期大学教員組合より全大教「大学・高専の充実を求めるアピール」署名いただく

3/9(水) 竹田附属病院長、飯田看護部長、門脇次期看護部長へご挨拶
(後藤委員長・橋場書記長・榎岡書記)

3/11(金)～3/12(土) 全大教書記研修会 in 東京 (榎岡書記)

3/24(木) NEWSLETTER No.555 「学長交渉結果報告」発行 (野崎前委員長)

3/24(木) 三重合同法律事務所顧問契約書作成 (野崎前委員長)



… * * 三重大学教職員組合はあなたの心強い味方になります。 * * …

困ったことがあれば気軽にご相談下さい。

連絡先 三重大学教職員組合書記局(教育学部・附属教育実践総合センター内1階)

TEL 直通 059-231-4447・内線 2169 E-mail KYF03351@nifty.ne.jp